

景観政策をさらに進化!

歴史的景観の保全に関する具体的施策（素案）について ～世界に誇る歴史的景観を未来につなぐ京都の景観づくり～

歴史都市・京都には、世界遺産をはじめとした寺社や御苑、庭園、歴史的な町並みなどの貴重な歴史的資産が数多く存在しています。これらが形づくる貴重な歴史的景観は、地域特有の歴史や文化と一体となって、市民や事業者、歴史的資産の所有者の皆様の御理解と御尽力のもと継承されてきた京都の宝です。

しかしながら一方で、近年、市内の歴史的景観を構成する重要な寺社やその周辺の一部で、景観に影響を与えかねない事例が発生しています。

そこで、今後も、貴重な歴史的景観を未来へ継承するため、平成26年度に、世界遺産をはじめとする寺社等とその周辺の景観に関する総点検を行うとともに、平成28年12月には、「歴史的景観の保全に関する取組方針」を策定し、歴史的景観の保全策について、学識経験者や宗教関係、経済界等で構成された検討会で議論を重ねてきました。

「新景観政策」の施行から10周年を迎え、全国をリードしてきた政策をさらに進化させる第一歩として、下記のとおり「歴史的景観の保全に関する具体的施策（素案）」を取りまとめましたので、お知らせします。

本素案に対して、広く市民、関係団体等の皆様からの意見募集を行ってまいります。

記

1 内容

別添「歴史的景観の保全に関する具体的施策（素案）」のとおり

2 今後の予定

(1) 市民意見募集期間

平成29年7月10日（月）～平成29年8月17日（木）

(2) 審議会の意見聴取

平成29年9月 美観風致審議会

平成29年11月 都市計画審議会

(3) 関連条例の改正

平成30年2月市会

(4) 新施策の施行

平成30年10月